

E.S. ARROW



世界の歌、日本の歌

SALSA

2023年11月17日(金) 18時開場/19時開演

アリーナ席6,000円 2階席5,500円

											
大崎 元 (Dr. Conga)	岡村 健二朗 (Dr. Perc)	加藤 昌 (Bongos)	亀崎 ヒロシ (Tachos)	中島 康 (P.Ban)	渡辺 浩史 (Bass)	中野 高樹 (Trombone)	宮内 昌太郎 (Trombone)	小島 武巳 (Trombone)	宮本 博樹 (Trombone)	小島 龍太 (Bass)	新井 大輔 (Trombone)

SALSA SWINGOZA

かつて、日本にこれほどハッピーでタイトなグルーブを聴いた、サルサバンドがあったらうか?

バンドマスターの大崎 元(オスカー・デ・ラ・ルス)の活動は、91年にデ・ラ・ルス脱退後、ニューヨークへ移住。'93~'96年までの3年間、サルサ界の大御所オスカー・デ・ラ・ルスに代わり、Tito Nievesのバンドでコンガを叩く。そこで出会った、ニューヨークサルサシーンに今でも夢中と熱く、'80~'90年代の独特なサルササウンドのエネルギーを体感すべく、帰国後'97年にSALSA SWINGOZAを立ち上げる。

'07年にはフジロックフェスティバルにサルサバンドとして初登場し、野外会場はダンスホールと化した。

同年にeweからリリースされたアルバム「Aquí se puede」では、Spanish Harlem Orchestraのリードヴォーカリストを務めた、Frankie Vazquezをゲストに迎え、サルサの名曲からビートルズナンバーまでを収録。これは間違いなく、サルサシーンに誇る名盤と見えよう。観客10人から繰り出される至極のダンスグループは必見、必聴である。

'SALSA SWINGOZA'とは、「リズムがSWINGする、の美談」「SWING、と、スペイン語で「楽しCenjoy」の「GOZAR」との造語。誰もが盛りだしたくなるような、SALSA SWINGOZAの音楽は、まさに「SWINGOZA」である。

主催：(同)ライブスポットアロー TEL 06.6438.2020